

目次

警戒ゾーンの構成 1

 構成する 1

動画デモ 4

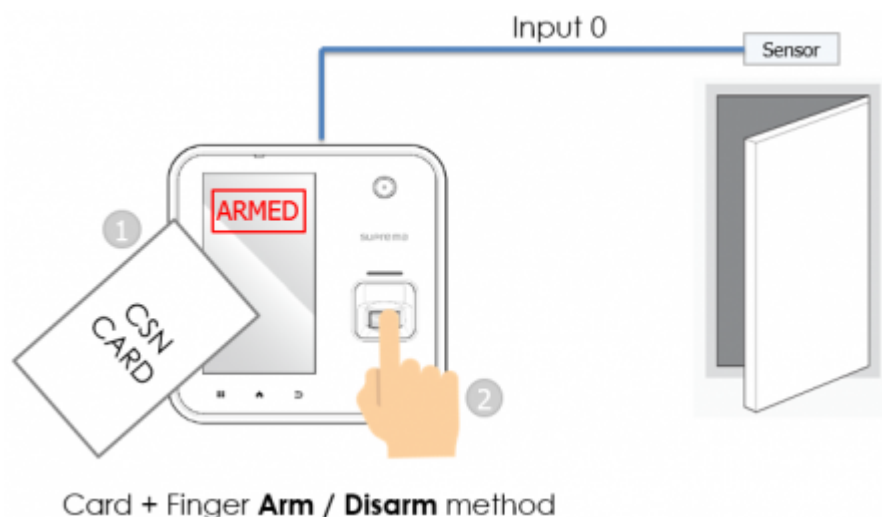
 サポートデバイス 5

システム構成, BioStar 2, 警戒ゾーン

警戒ゾーンの構成

警戒状態の時の侵入試行の感知に使われる警戒ゾーンは、BioStar 2.5で導入されました。侵入イベントが発生した際にデバイスを作動させ、警告音を出力したり、リレー信号を送信することができます。

この機能は通常、業務終了後に事務所を閉める時に開始し、翌日業務を始める際に解除します。



警戒ゾーンをサポートするデバイスリストは、文書下段を参照してください。

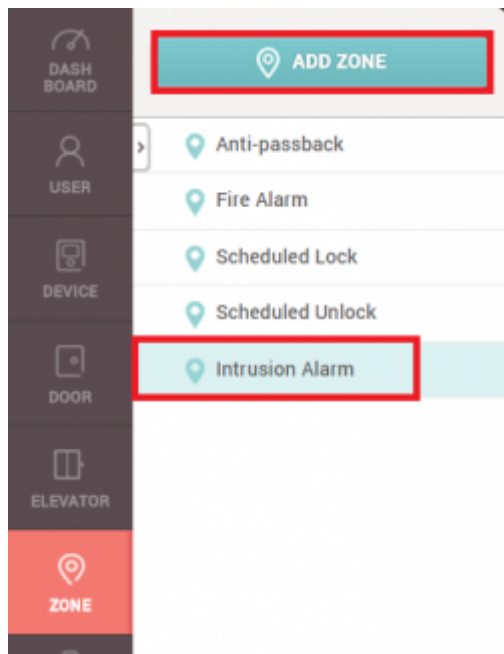
警戒ゾーンは現在RS-485に接続するローカルゾーンのみサポートされ、グローバルゾーンでは使用できません。

警戒ゾーンは入力設定により侵入を感知することができ、ドアセンサーは侵入感知にも使用されます。警戒状態に対する出力および信号は、様々に設定できます。作業条件および動作メニューから、特定イベントについて管理者にEメールで知らせるよう設定することもできます。

警戒開始時にはユーザーは進入できず、認証を試した後に拒否されると該当ログが記録されます。イベントログ類型についての詳細内容は、Knowledge Baseから警報ゾーンに関連する構成ガイドを参照してください。

構成する

1. BioStar 2にデバイスを追加してください。
2. ドアにデバイスを追加してください。
ドアの構成方法は [ドアの生成](#)を参照してください。
3. **ゾーン(ZONE)**メニューをクリックしてください。
4. **ゾーン追加(ADD ZONE)**をクリックしてください。



ゾーン(ZONE)メニューを使用するには、BioStar 2 AC Standardライセンスが必要です。

5. 警戒(Intrusion Alarm)を選択した後、確認(Apply)をクリックしてください。

A screenshot of the 'Information' and 'Configuration' sections of the BioStar 2 web interface. The 'Information' section shows 'Name' as 'My Alarm Zone' and 'Type' as 'Intrusion Alarm'. The 'Configuration' section shows 'Mode' as 'Local' (disabled), 'Active/Inactive' as 'Active' (enabled), and 'Door' as 'A2 door'. A note states: '* The sensor of this door can be used as detecting intrusion.'

6. 警戒ゾーン名(Name)を入力してください。

現在BioStar 2.5ではローカルゾーン(RS-485接続)のみ使用できます。

7. 侵入を感知するドア(Door)を選択してください。

8. ゾーンを活性化(Active)してください。

9. 必要な場合には、遅延時間(Delay Time)を設定してください。

開始遅延時間：デバイスは警報前に設定した時間(秒)の間待機した後、警告音を出力します。

解除遅延時間：侵入が感知された場合、設定した時間(秒)の間、侵入感知(Intrusion alarm

detected)イベントに対する警報動作を行いません。

10. デバイスの警戒/解除方法を選択する場合は、**+追加(+ Add)**をクリックしてください。

デバイスの警戒/解除方法は、次の3つがあります。

1.

入室カード：デバイスで警戒/解除するには、ユーザー認証のためのCSN/Wiegandカードを登録しなければなりません。最大128個のアクセスカードを作ることができます。

2. **デバイス**：このオプションはキーパッドがあるデバイスでのみ可能です。

-

A2：警戒を開始するには、LCD

画面に表示される赤色の開始ボタンを押してください。解除の際は、同じボタンをもう一度押してください。

- BioStation 2、BioStation

L2：警戒を開始するには、1秒間F1を押した後、さらに1秒間F2を押してください。

3. **入力**：外部入力信号でデバイスを開始/解除するには、このオプションを使用してください。

11. 警戒ゾーンを警戒/解除する警戒/解除グループ(**Access Group**)を選択してください。最大128個のグループを設定できます。

12. **+追加(+ Add)**

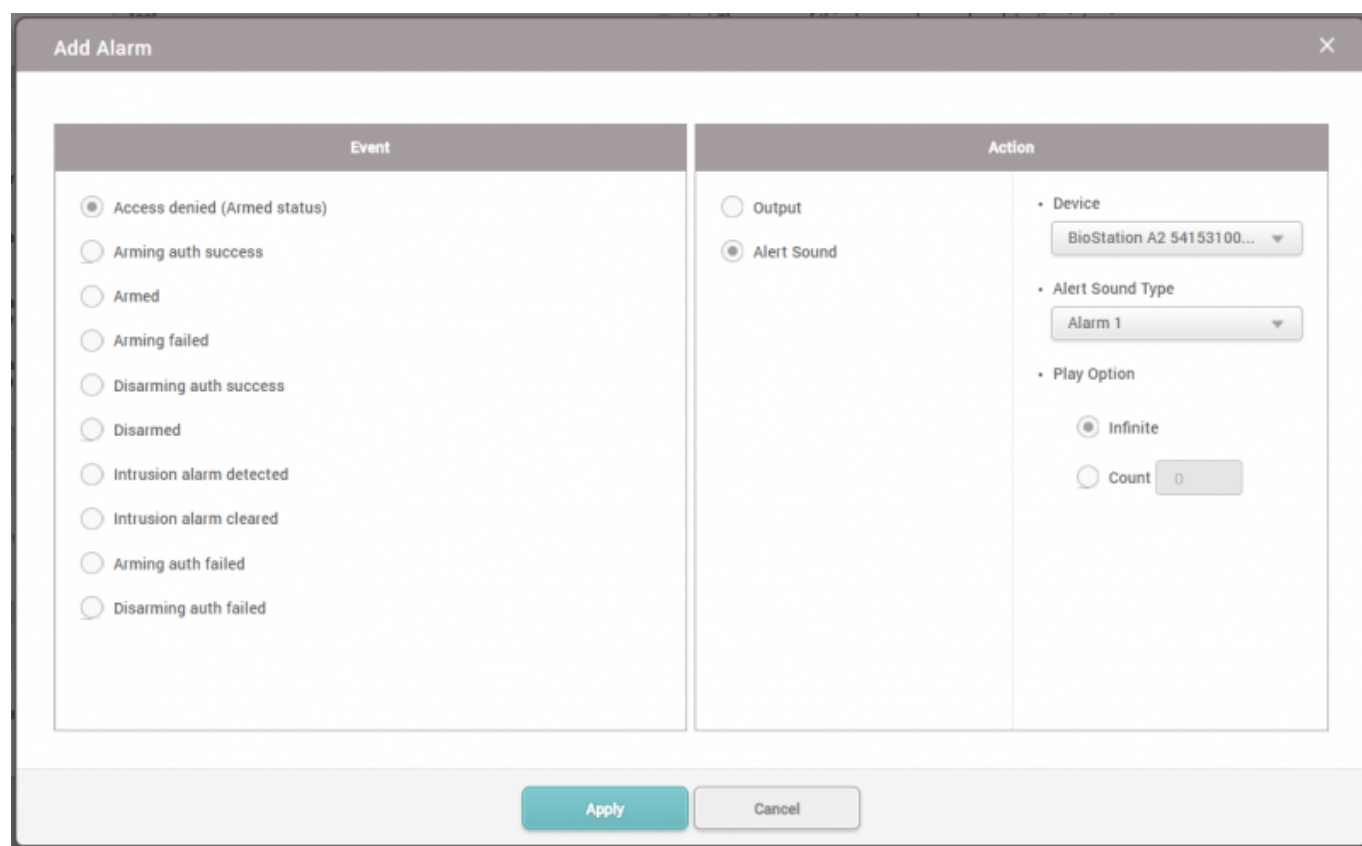
をクリックして、侵入を感知する入力を構成してください。ドアセンサーも侵入感知に使用できます。

13. **+追加(+**

Add)

をクリックした後オプションを選択して、特定イベント発生時に作動するよう警報を構成してください。デバイスで警告音を出力するよう設定したり、リレー出力信号を送信することができます。

次のイメージは、警戒ゾーンで使用できるイベントオプションです。



警報イベント発生後に警告音(**Alert Sound**)を消すには、**モニタリング(MONITORING)** > **デバイス状態(Device Status)**メニューから**アラーム解除(Clear Alarm)**を選択してください。

動画デモ

次は、警戒ゾーンに構成されたBioStation

A

2デバイスを警戒開始したサンプル動画です。警戒が開始された状態で認証試行が行われ、警戒が解除されます。

[2x_sysconfig_a2_alarm_final.mp4](#)

モニタリング(MONITORING)メニューの**ゾーン状態(Zone Status)**でのアラーム解除はできませんが、BioStar 2のメニューで警戒開始状態を非活性化することはできません。

サポートデバイス

下記は、BioStar 2.5で警戒ゾーンをサポートするデバイスです。

- BioStation 2 FW 1.5.0
- BioStation A2 FW 1.4.0
- CoreStation FW 1.0.0
- P2 FW 1.0.0
- R2 FW 1.0.0

下記は、BioStar 2.6から警戒ゾーンをサポートするデバイスです。

- BioStation L2 FW 1.3.0 以上 - W2 FW 1.2.0 以上 - FaceStation 2 FW 1.1.0 以上

他のEntry系列デバイスは警戒ゾーンをサポートしません。

From:
<http://kb.supremainc.com/knowledge/> -

Permanent link:
http://kb.supremainc.com/knowledge/doku.php?id=ja:how_to_configure_an_alarm_zone&rev=1566784347

Last update: **2019/08/26 10:52**